

忘れずに 犬の登録と狂犬病予防注射

問 生活環境課 ☎(24)8910

飼い犬には一生に1回の登録と年1回の予防注射を忘れずに。

▶注射料金 **3,500**円 (注射料金2,950円、注射済票交付手数料550円) ▶登録手数料 **3,000**円



日時	場所
5月 8日(水)	9:00~9:30 三崎団地東公園(初日屋裏) 10:00~10:30 小浜南出荷場(西安寺前)
10日(金)	9:00~10:00 海上八幡宮(柴崎町) 10:30~11:00 正等院(野尻町)
12日(日)	13:30~15:00 市役所玄関前駐車場 9:00~9:30 川口町青年館(不動堂先)
13日(月)	10:00~10:30 市民センター西駐車場 11:00~11:30 市体育館玄関前
16日(木)	9:00~9:30 長塚町青年館(5中前) 10:30~11:00 豊里台緑が丘公園入口
18日(土)	13:30~15:00 市役所玄関前駐車場

緑内障は日本で失明原因の一番多い疾患です。緑内障は視神経に障害が起こり、見える範囲が狭くなる病気です。大切なことは一度障害が起きた神経はもとに戻らないということです。つまり一旦見えなくなつた部分はそのまま治らないということと進行が止まらなければ完全に失明してしまう危険性があるということです。多くの場合は進行が非常にゆっくりのため自覚症状がなく、見えづらいために気が付いた時は中期〜末期まで進行していることがほとんど

です。年齢に伴う目の疾患は、眼球自体も年齢に合わせて病気が現れます。今回は名前が似ている白内障と緑内障を中心にまとめてみましょう。

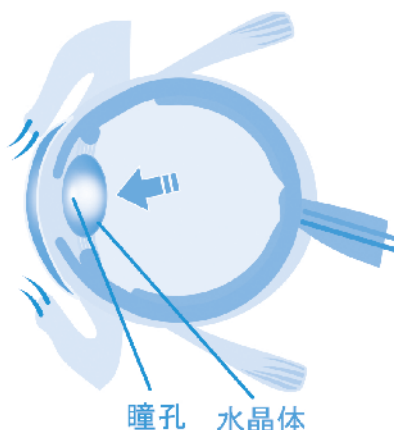
白内障は水晶体という目の中のレンズが濁る病気です。症状はかすみや光がまぶしいなどがあります。初期であれば点眼薬で進行速度を遅くできる場合もありますが、生活に支障をきたす場合や緑内障などの原因になる白内障の場合は、手術が必要です。



年齢に伴う目の疾患 （白内障・緑内障を中心に）

国保旭中央病院眼科

野本洋平 医師



です。緑内障学会は緑内障が出やすくなる40才以上の眼科検診を勧めています。

年齢と関係ありませんが糖尿病と指摘された場合は、緑内障と同様に失明につながる可能性があります。症状が無くても眼科で糖尿病網膜症の検査を必ず受けましょう。

ほかにも年齢に伴う目の疾患は老眼や加齢黄斑変性症などがあります。大切な目を守るために定期的な検診を行い、何か症状が出れば眼科の診察を早期に受けるようにしましょう。